

授業の概要

肉眼的に認知できる形態を既に学んだ歯について、その内部のミクロの構造(歯の組織)、そうした組織構造が形づくられる過程(歯の発生)を理解する。また、その過誤によって生じる異常、あるいは、歯列・咬合についての解剖学な知識についても理解を深める。

■教科書：最新歯科技工士教本 口腔・顎顔面解剖学 (医歯薬出版)

■参考書：プリント配付

■授業時間：木曜日 18:00～18:45

■オフィスアワー：渡瀬 哲郎 (watase.tetsurou@nihon-u.ne.jp) 木曜日 16:30～17:30

■成績評価：前期：定期試験(35%)と平常試験(5%×3)

後期：定期試験(40%)、平常試験(5%×2)で評価する。

平常試験後に解説を行いフィードバックする。

■注意事項：教科書および筆記用具を必ず持参する。

■授業方法：講義形式、授業内に平常試験を行う。第8回、第12回および第15回に平常試験と解説を行う。

■準備学習：前に教科書で講義項目を確認しておくこと。

■準備学習時間：講義時間と同等の時間の予習と復習を各自で行うこと。

■実務経験：渡瀬 哲郎：H30年度まで日本大学歯学部解剖学講座に所属していました。歯及び歯周組織は、切片標本にして顕微鏡で観察すると複雑な構造をしていることが分かります。歯のミクロな解剖について、組織学的・発生学的観点から勉強し、一緒に理解を深めていきたいと思えます。

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
第1回4月4日 渡瀬 哲郎	歯の解剖学概論 1. 歯と歯周組織 1) 歯の組織 エナメル質(1) (教1) pp. 79-81	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度歯科技工士国家試験問題に解答し、内容の理解度を自分自身で確認する。 歯と歯周組織の構成を説明できる。 切片標本の種類と作製方法を説明できる。 エナメル質でみられる諸構造を説明できる。
第2回4月11日 渡瀬 哲郎	1. 歯と歯周組織 1) 歯の組織 エナメル質(2) (教1) pp. 79-81	<ul style="list-style-type: none"> エナメル質でみられる諸構造が説明できる。
第3回4月18日 渡瀬 哲郎	1. 歯と歯周組織 1) 歯の組織 象牙質	<ul style="list-style-type: none"> 象牙質でみられる諸構造が説明できる。

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
	(教1) pp. 81-83	
第4回4月25日 渡瀬 哲郎	1. 歯と歯周組織 1) 歯の組織 歯髄 セメント質 (教1) pp. 83, 84	<ul style="list-style-type: none"> 歯髄に存在する細胞と役割が列挙できる。 セメント質の種類と諸構造が説明できる。 セメント質に存在する細胞を説明できる。
第5回5月9日 渡瀬 哲郎	1. 歯と歯周組織 2) 歯周組織 歯根膜 歯槽骨 (教1) pp. 85, 86	<ul style="list-style-type: none"> 歯周組織の構成が説明できる。 歯根膜の線維と細胞の役割が説明できる。 歯槽骨の位置づけと分類が説明できる。
第6回5月16日 渡瀬 哲郎	1. 歯と歯周組織 2) 歯周組織 歯肉 (教1) pp. 87-90	<ul style="list-style-type: none"> 口腔粘膜の分類と構造が説明できる。 歯肉の分類とそれらの特徴が列挙できる。 歯肉線維の分類と役割が説明できる。
第7回5月23日 渡瀬 哲郎	1. 歯と歯周組織 3) 加齢に伴う変化 (教1) pp. 90, 91	<ul style="list-style-type: none"> 歯, 歯周組織あるいは顎骨の加齢変化が説明できる。
第8回5月30日 渡瀬 哲郎	「平常試験(1)」	<ul style="list-style-type: none"> 第1回~7回の内容を総括し, 平常試験を行う。 重要事項と新しい項目における疑問点を解決できる。
第9回6月6日 渡瀬 哲郎	2. 歯の発生 1) 歯胚の発生 2) 歯冠の形成 (教1) pp. 73-76	<ul style="list-style-type: none"> 歯の由来と口腔前庭の形成が説明できる。 歯胚の構成組織とその変化が説明できる。
第10回6月13日 渡瀬 哲郎	2. 歯の発生 3) 歯根の形成 (教1) pp. 76, 77	<ul style="list-style-type: none"> 歯根の象牙質, 歯周組織の形成が説明できる。
第11回6月20日 渡瀬 哲郎	2. 歯の発生 4) 歯の萌出と脱落 (教1) pp. 77, 78	<ul style="list-style-type: none"> 歯の萌出, 脱落, 交換にともなう現象が説明できる。

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
第12回6月27日 渡瀬 哲郎	3. 歯の異常概論 「平常試験(2)」	<ul style="list-style-type: none"> • 歯の発生に関連して生じる、歯の異常が説明できる。 • 第9回～11回の内容を総括し、平常試験を行う。 • 重要事項と新しい項目における疑問点が解決できる。
第13回7月4日 渡瀬 哲郎	3. 歯の異常 1) 数と萌出の異常 2) 形態の異常 3) 色の異常 (教1) pp. 92-101	<ul style="list-style-type: none"> • 正常な歯の形態を復習し、理解度を深める。 • 歯の異常を大別できる。 • 異常の性状(推測可能なものはその成因)や特徴、好発部が列挙できる。
第14回7月11日 渡瀬 哲郎	4. 歯列と咬合 1) 歯列弓 2) 咬合 3) 歯の傾斜 4) 咬合と歯列の異常 (教1) pp. 102-109	<ul style="list-style-type: none"> • 歯が顎に植立していることによって生じる形態(歯列弓、咬合彎曲、コンタクト、鼓形空隙)やその特徴、あるいは咬合関係や植立方向を説明できる。
第15回7月18日 渡瀬 哲郎	「平常試験(3)」 前期のまとめ (教) pp. 73-109	<ul style="list-style-type: none"> • 第12回～14回の内容を総括し、平常試験を行う。 • 重要事項と新しい項目における疑問点を解決できる。